

# ふむふむ

こうふうだいしょうがっこうとしょしつ  
光風台小学校図書室

令和6年(2024年)6月号

6月は雨が多く降る梅雨があり、湿気が高くなりジメ  
ジメする日が多くなっていきます。みなさん体に気をつ  
つけて毎日元気よく学校に来て勉強してくださいね。



## としょかんたんけん

### ほんのしょうかい

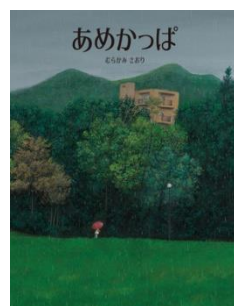
- 『あめかっぱ』むらかみさおり

「きょうはピクニックびよりですよ」

お留守番をしているなおちゃんに話しかけてくるのは、かっぱ。  
このあたりでは、雨の日にお留守番をする時は、かっぱと一緒に  
過ごすのです。なおちゃんは驚いて聞きます。

「あめなのに?」「あめだから!」

のりで巻いたおにぎりを持って、二人でお出かけです。



- 『雨がしくしく、ふった日には』森絵都：作 たかおゆうこ：絵

クマのマーくんは、<sup>あめ</sup>雨がふると、こまったなあ、<sup>おも</sup>と思います。  
なぜなら、しとしと、しとしと、<sup>だいち</sup>大地をぬらす<sup>あめ</sup>雨の音<sup>おと</sup>が、マーくん  
の<sup>みみ</sup>耳には「しくしく、しくしく」と<sup>な</sup>泣いているように<sup>き</sup>聞こえて<sup>おち</sup>落ち  
<sup>つ</sup>着かないから。とくに6月は<sup>がつ</sup>梅<sup>つゆ</sup>雨なので<sup>あめ</sup>雨が<sup>つづ</sup>続いて<sup>とき</sup>ホッとできる時  
がないのです。



## ・『こうえんのシロあめふり』わたなべひろみ

あめのひのこうえんで、シロはひとりで<sup>つく</sup>どろだんごを作って  
あそんでいました。すると、どこからか<sup>こえ</sup>声<sup>き</sup>が聞こえてきて ---。



## ・『ふしぎな声のする町で』ほしおさなえ：作くまおり純：絵

<sup>ごねんせい</sup>五年生<sup>ななこ</sup>の七子は、<sup>さかきまち</sup>坂木町<sup>ひ</sup>に<sup>こ</sup>引っ越してきたばかり。ある日、クラ  
<sup>とば</sup>スメイトの鳥羽が、<sup>こうえん</sup>公園でしゃべっているのを見かけた。そばにだ  
れもないのに、<sup>おとこ</sup>男<sup>ひと</sup>の<sup>こえ</sup>人<sup>き</sup>の声<sup>き</sup>が聞こえる。話し相手は、なんとカサ  
ツボ。鳥羽は、ものに宿った「<sup>たましい</sup>魂」、<sup>こえ</sup>「ものだま」の<sup>き</sup>声を聞くことができ、  
「ものだま<sup>たんてい</sup>探偵」として、この<sup>まち</sup>町<sup>お</sup>で起<sup>かいけつ</sup>こるふしぎなできごとを解決している  
というのだ…。

